



令和8年3月1日 修道保育所

2月末から春を思わせるような暖かい日が増えてました。3月が近づくと、まさに『三寒四温』という言葉の通りだと感じるこの頃です。

2月には節分会をしました。子ども達は『イライラ鬼』『泣き虫鬼』と自分達の心の中にある『鬼』を思いうかべながら『退治したい』と豆まきをしました。「『イライラする気持ち』って何かな？」と尋ねると「むかつくんよ。チクチクな気持ち」と教えてくれました。「『泣き虫』はどんな時？」「思うようにならんかったら泣く。」「泣いたら聞いてくれる」それぞれが自分の思いを聞かせてくれました。子ども達の言葉を聞きながら、感じたのは『鬼の怖さ』の中のある『本当の気持ち』でした。態度の悪い鬼はただ怖がらせるだけでなく、自分の心の中を見透かされているようなそんな怖さがあったのかもしれない。子ども達が、おうちの人に言われた事をよく覚えて、保育所で友だちや職員に話して聞かせてくれます。楽しそうに話す事もあれば、少し寂しそうな表情を見せる事もあります。まだまだ自分の思いを十分に言葉にすることが難しい幼児期です。『イライラしている時』『泣いて気持ちを閉ざしている時』こそ、その奥にある気持ちを少しずつ言葉にできるような環境と関わりをこれからも大切にしていきたいと思えます。

一年を通して、地域の皆様、保護者の皆様に支えて頂き、令和7年度の修道保育所を無事に過ごすことができました。ありがとうございました。

今月もよろしくお願ひいたします。

今月の目標

- 成長の喜びを味わい、進級・就学への期待を持つ。
- 戸外遊びや散歩を通して、春の訪れを感じ、身近な自然の変化に気づく。

『つなげよう』～1年を振り返って

2月は地域の方とふれあいサロンでの交流、こども園とごうちの年長児との交流、地域探検など様々な経験を楽しむ事ができました。こども園とごうちに初めて遊びに行きました。一緒に『氷鬼ごっこ』『かるたとり』をたくさんの方々と楽しみました。意見の違う友達に寄り添う事や自分だけの考えではない事など2人では味わえない貴重な体験となりました。また年長児は校長先生からのお誘いで月末に『小学校をのぞいてみよう！』と学校に行きました。春から始まる新しい生活に思いをふくらませながら、期待に胸を弾ませている様子でした。

散歩では、これまで修道地区の中で訪れたことのない場所へも行き、新しい景色や春の訪れ、小さな変化など、様々な発見を子ども達と共有しました。高い場所から保育所を発見し、「保育所って遠いね」とつぶやく子ども達。園に帰ってからも「私たちはどこから保育所をみたの？」と興味を持ち、歩いた道や場所を思い返そうとする姿が見られました。経験を重ねる中で、周囲への関心が広がり自分達の世界が少しずつ広がっている事を感じます。



令和7年度 卒園式

<日 時> 3月14日(土) 9:15~

<場 所> 保育室

※卒園児 別途通知 ご確認ください。



～入所・進級式のおしらせ～

4月7日(火)

令和8年度入所・進級式

(園児・新入所園児保護者・職員・来賓のみ参加)

※詳細は後日お知らせします。



おねがい

4月7日(火) お弁当持参日

※給食調理場新年度準備のため給食提供ができません。お弁当をよろしくお願いいたします。

町内年長児お別れ遠足

18日に町内の年長児がお別れ遠足に行きます。保育所最後の遠足は町外です。ワクワクドキドキ楽しみにしています。

安野花の駅お散歩

乳幼児クラスみんなで澄合から安野駅まで歩きます。一緒に楽しんで思い出作りします。お弁当の準備をお願いします。

バス通学体験

年長児は進学に伴い、教育課の公用車で通学バスの体験をします。
※日時は後日お知らせします。

日	曜日	行事予定
3	火	ひなまつり会 やまびこ号
9	月	卒園式予行 9:15~ 8:50までに登所しましょう
10	火	うんどう遊び 9:15~
11	水	身体計測
13	金	卒園式準備
14	土	令和7年度卒園式 9:15~ ※別途通知
17	火	避難訓練
18	水	町内年長児お別れ遠足 ※別途通知
24	火	令和7年度修了式
25	水	安野駅花の駅お散歩 ※別途通知
31	火	令和7年度終了
5.12	木	ALT ピーター先生



『もりみん山のこども園』～ひろしま自然保育認証を受けて～

このたび、修道保育所は『ひろしま自然保育認証制度』の認定を受けることができました。これまで大切にしてきた、園外活動や戸外活動など、自然の中での体験が、日々の暮らしとしっかりと結びついた保育として認めて頂いたことを嬉しく思います。私達が一番心がけてきたことは、子ども達が『まだ経験をしたことがない遊び』に出会ったとき、すぐに手を出すのではなく、見守ることを前提に安心して挑戦できる環境を整える事でした。今は車社会と言われる時代です。長い距離を歩く脚力や体のバランスを使う力が育ちににくく、少しの事で疲れてしまう姿に心をとめてきました。だからこそ、『歩くこと』『登る事』『自然の中で思い切り身体を使うこと』日々の保育の中で積み重ねてきました。また、子ども達が没頭し、継続して遊びこむ力をどのように育てていくかを職員同士何度も話し合う中で、改めて特別なことではなくまずは、私達大人が本気で向き合い、本気で遊び、その姿を見せる事でした。子ども達は大人の姿をよく見ています。一緒に笑い、考え、挑戦する毎日の中で『自然と関わる力』『友だちとつながる力』『自分でやってみようとする力』が少しずつ育ってきたと思います。これからも自然と共にある暮らしの中で、子ども達の『やってみよう！』を大切にしながら、歩いていきたいと思えます。



それいけ！1歳児

4月に2人でスタートした1歳児クラス。並行遊びをしながらもいつもどこかでお互いの存在を感じ合っていました。まだ一緒に遊ぶを楽しむよりは、それぞれが自分の遊びを楽しむ時期。それでもふとした瞬間に友達の名前を呼び合い「〇〇くん」「〇〇ちゃん」と求めあう姿がありました。教えられたわけでもないのに、幼いながらに競い合う気持ちも芽生えていました。靴を履く時も自分の事をしながらもそっとなりを気にしている姿がありました。友達がいるからこそ刺激を受け、意識し合い、心も身体も少しずつ育っていくのだと感じました。先日、体験入所で同年齢の友達と過ごしました。言葉の数や遊び方もそれぞれに違いがあります。それでも、お互いに気にしながら過ごす姿から、これから始まる新しい生活への一歩を感じました。4月からどんな毎日が待っているのでしょうか！楽しみです。

